



氏名	I.Y.
所属	現代システム科学域 知識情報システム学類
学年	4年
留学先	CNU AI Summer School (全南大学校)
留学期間	2025/8/4~2025/8/17

留学レポート Study Abroad Report

私が韓国の 2 週間の短期留学に参加したきっかけは、AI 技術に関する実践的な知識を国際的な環境で学び、将来のキャリアや世の中への貢献につなげたいと考えたからです。将来的には、機械学習や AI を活用し、社会をより便利で快適にする取り組みに携わりたいと考えており、この留学はそのための大きな一歩になると考えました。

(右は食堂の写真です。朝ご飯はほぼ毎日ここで食べていました。食堂の初めての日は日本と違う点が多く、戸惑いながら前の学生さんの真似をしました。パンの日とご飯の日があり、様々なメニューで毎日朝ご飯が楽しみでした。)



実際に CNU AI Summer School に参加してみると、AI に関する講義や実習だけでなく、韓国語の授業や文化体験、企業見学など多様なプログラムが用意されており、非常に充実した学びを得ることができました。特に印象的だったのは、ロボット研究所を訪問し、メディカルマイクロナノロボットについて学んだことです。実際に研究中のロボットを見せていただき、最先端の技術が医療分野にどのように応用されているかを知ることができ大きな刺激を受けました。また、韓国の自動車企業である KIA の工場を見学し、世界的企業のスケールの大きさや生産現場の迫力を間近に体験できたことも忘れられない思い出です。

(左は発表したものです。こちらはポスターにまとめてありますが、実際はスライドショーを使って発表しました。班の皆で試行錯誤し、メンターの方とも話し合いながらプログラミングやスライド作りに取り組みました。不明点はメンターの方に質問するととてもわかりやすく教えていただきました。)

文化体験もとても楽しく、そして勉強になりました。韓服を着て景福宮を訪れたり、伝統的な絵付けやビビンバ作り、テコンドーやダンス体験を通して韓国の文化を実際に体感することができました。また、最終日前日にはロッテタワーやロッテワールドにみんなで行くこともできました。さらに、大学の歓迎会でサムギョブサルと一緒に食べたり、他の日の夜にはチキンをみんなで囲んだり、食文化を通じた交流も心に残っています。他にも、休日や授業終わりは仲良くなった韓国の学生や日本の学生とショッピングに出かけ、化粧品を紹介してもらったり、服を買ったり、プリクラを撮ったりしました。チムジルバンにも二度行き、韓国の日常生活に触れられたことも貴重な経験でした。終盤には、休日にバスを借りて仲間とヨスを訪れ、美しい景色を楽しみながら絆を深めることができました。



(右上は最終日に空港でみんなで食べたご飯です。日本ではあまり見かけない写真の撮り方だと思うのですが、これはメンターの方々やサマースクールに参加していた人達と一緒にチムジルバンに行ったときに、メンターの方に教えてもらった撮り方です。とても気に入っていて、特にこの写真は綺麗に撮ることができました。)

(右の写真はヨスの写真です。韓国の3大観光地の1つだということで、「みんなで行きたい!」となり、韓国の参加者の子にバスを予約してもらいみんなで行きました。滞在時間はあまり長くありませんでしたが、カンジャンケジャンを食べたり、ロープウェイに載ったりと楽しい一日を過ごすことができました。)



寮は2人部屋で、同室の子ともすぐに打ち解けました。プログラムを通じて日本全国から集まった学生や韓国の学生と強い友情を築き、最終日には手紙を交換し合い、別れを惜しんで涙するほどの関係になりました。韓国語自体は大きく上達したわけではありませんが、実際に使うことへの抵抗がなくなり、挑戦する意欲を持てるようになったことは大きな成果です。

この留学の大きなメリットは、AIやロボット分野に関する最先端の学びを得られただけでなく、異文化交流を通じて国際的な視野を広げられたことです。短期間でありながらも、自分の可能性を大きく広げる経験となり、予想以上に多くのことを吸収できました。

この経験を経て、私のモチベーションはさらに高まりました。AIやデータ分析を通じて世の中をより便利にすることに貢献したいという思いが一層強くなり、今後の学習やキャリアにつなげていきたいと考えています。CNU AI Summer Schoolは、技術と国際交流の両面から自分を成長させてくれる貴重な機会であり、ここで得た経験を必ず活かしていきたいと思っています。